

## 小田急電鉄 20000形「RSE」の車内設備の覚え書き

（2014年3月・作成）

◎作成・半沢一宣（はんざわ・かずのり）

\* 2012年3月16日限りで営業運転を終了した車両の記録です。

20000形は、それまで小田急の新宿駅とJR東海の御殿場駅を結んでいた連絡急行「あさぎり」を、1991年3月16日のダイヤ改正で沼津まで延長運転し特急化するのに合わせて、2編成が新造された車両です。

7両編成のうち3号車と4号車の2両が2階建て(ダブルデッカー)だったのが特徴で、2階は各座席に小型液晶テレビが付いたスーパーシート(JR線内ではグリーン車扱い)、1階は3号車が横3列の普通車、4号車がセミコンパートメント(4人用簡易個室)となっていました。それ以外の5両はハイデッカー構造で、先頭車の最前列席からは運転室越しに前面展望が楽しめるよう配慮した設計になっていました。

しかしハイデッカーやダブルデッカーであることがバリアフリー化の妨げとなり、また旧式の走行システムで電力消費量が多いことなどのため、2012年に引退することになりました。

なお2編成のうちの1編成は富士急行に譲渡され、3両編成に改造のうえ、2014年夏ごろから同社の有料特急列車として運転する計画が発表されています。

車いす対応座席・車いすスペース・多目的室

設置されていませんでした。

トイレ(次ページの配置図で「B」または「b」と表記)

2号車の新宿寄りには車いすでも入れる広さでベビーベッドを備えた多機能トイレが、6号車の沼津寄りには車いすに対応していない広さでベビーベッドを備えたトイレが、それぞれ設置されていました。

洗面所

2号車の新宿寄りと6号車の沼津寄りに車いす対応でない構造のものが設置されていました。

公衆電話(次ページの配置図で「p」と表記)

3号車の沼津寄りと4号車の新宿寄りに車いす対応でない構造のものが設置されていました。

飲料自動販売機

設置されていませんでした。

受動喫煙の発生状況

2007年3月18日から全車禁煙でした。

乗車・調査の実施記録

2012年2月5日(日曜日)新宿7時00分発箱根湯本ゆき「はこね1号」  
(全区間を3号車2番A席に乗車)

車両番号・3号車=サハ20251(1990年・日本車輛製)

次ページ以降に掲載した写真には、別の日時・列車で撮影したものも含まれています。

小田急電鉄 20000形「RSE」の車内設備の配置図



凡例

指 = 普通車指定席

G = スーパーシート（グリーン車）

個 = セミコンパートメント

B = 車いす対応多機能トイレ（ベビーベッド有、オストメイト用設備は無）

b = 車いす非対応トイレ（ベビーベッド有）

p = 公衆電話（車いす非対応）

K = 売店（兼・車内販売準備室）

= A E D（自動体外式除細動器）

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



小田急電鉄 20000形「RSE」



小田急電鉄 20000形「RSE」の  
車体側面のロゴ



小田急電鉄20000形「RSE」の  
2号車の多機能トイレ



小田急電鉄20000形「RSE」の  
2号車の洗面所



小田急電鉄20000形「RSE」の  
3号車の電話室



小田急電鉄20000形「RSE」の  
3号車の売店内に設置されたAED